

## 保護司国際研修に参加して

和歌山保護観察所 保護司 林 多恵子

2013年6月12日、13日の2日間、国連アジア極東犯罪防止研修所での保護司国際研修に参加させていただきました。

今回私にとって初めての「国際」という名の付く研修です。ですから、和歌山保護観察所の方からお話を頂いた時にも、アジ研から実施要領を送って来てくださった時にも、保護司としての経験がまだ5年半の私が、こんな大きな研修に参加させてもらってもいいのかという気持ちが拭い切れませんでした。しかし、保護観察所の方からは是非楽しんで来てくださいとのお言葉を頂き、東京へ出かけることにしました。

当日はあいにくの大雨でした。期待と不安の入り混じった気持ちでアジ研に着きましたが、正門に入るや、職員の方が出迎えてくれ、中へと案内してくださいました。おかげで迷うことなく受付を済ませることができました。

各地からの7名の保護司が揃った後、所長挨拶、オリエンテーション、アジ研紹介のDVD上映があり、午後2時30分に第154回国際研修参加者との意見交換会が始まりました。この研修には海外8か国から12名と、国内から7名が参加していました。私たち保護司の「事例紹介」や「保護司活動報告」は、事前に英訳された発表資料が配布され、発表や質疑応答は同時通訳されました。第154回国際研修の参加者にも私たち保護司にも新しい気づきがあったと思います。そしてまた、海外からの研修参加者の方々が質問されている中で、それぞれの国の様子や実態などをうかがい知ることができました。

夕食会や懇親会では和やかな雰囲気の中で、外国の方とも日本の方とも打ちとけて楽しい時を共有させていただきました。時間の経つのが早く、もうお別れなのかと名残惜しかったです。もっと交流する時間が欲しいと思いました。

2日目はディビット・プレスコット氏による性犯罪者の処遇に関

する講義を受講しました。難しく理解できないところがありましたが、国際研修の雰囲気を楽しみながら、貴重な体験をさせていただきました。

研修後、所長室で懇談会、修了証書授与式があり、立派な修了証、記念品まで頂いて感激しています。

各地から参加されていた保護司の方とも、初めてお会いしたのにもかかわらず、すぐに親しくさせていただき、2日間はあっという間でした。皆様からの「事例紹介」や「保護司活動報告」をお聞きして、私ももっともっと頑張らなくてはという思いとともに、日本各地でこんなに頑張っている仲間がいるんだという連帯感を強めることができました。

本当にありがとうございました。この研修に参加させていただいたことは私にとって誇りであり、とても励みになりました。楽しんで来てくださいというお言葉どおり、楽しませていただきました。

最後になりましたが、お出迎えからお見送りまで、教官の方々、職員の方々の細やかな、そして温かい御配慮に心からお礼申し上げます。

## 保護司国際研修に参加して

佐賀保護観察所 保護司 森 典 子

保護司国際研修のことは今回初めて知り、参加の意思表示はしたものの、送られてきた研修計画や内容を見て、不安と緊張で一杯でした。しかし、良い勉強の機会と捉えるようにしました。そして、私の不安を和らげるかのような「職員一同、皆様のお越しを心よりお待ちしております。」という研修所からの温かい言葉にほっといたしました。

第154回国際研修参加者との意見交換会では、日本人の参加者や教官の方々が適宜助言や補足をしてくださり、外国人の参加者に日本の保護司制度や活動について理解していただくことができました。

夕食会では、外国人の参加者、日本人の参加者、教官方と、日本人保護司が入り混じるように席が配置されており、英語での意思疎通ができるよう配慮されていたため、有意義な夕食会となりました。

また、夕食後の懇親会も盛り上がり、日本の踊りあり、カラオケあり、歓談あり、笑いありで、心温まる楽しいものでした。最後に皆で肩を組み輪になって“*We are the world*”を歌ったのも、この国際研修ならではの感動でした。

私の英語力不足や犯罪者処遇についての知識不足などのために難しい面もありましたが、司法や更生保護に関わる方々の心の広さ、温かさを感じることができました。国際研修の雰囲気を楽しませていただき、有意義な2日間でした。

保護司として、このような研修に参加できましたことを感謝しております。

今後の保護司活動も頑張らなくてはと、改めて感じております。日本のことだけを考えていた保護司活動でしたが、視野を広め、何事においてもグローバルな視点で見つめ考えることの大切さを学ばせていただきました。